

2026 年 8 月 6 日

各 位

オ イ レ ス 工 業 株 式 会 社
代表取締役社長 坂 入 良 和
(コード番号 6282 東証プライム)

(問合せ先)
執行役員
企画管理本部長 吉 田 裕 志
TEL 0466-44-4901

フランス沖の浮体式洋上風力パイロットプロジェクトに製品供給 ー過酷な環境下で性能発揮、再エネ発展の支えにー

オイレス工業株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役社長：坂入良和、以下「当社」）の樹脂製すべり軸受「ファイバーフロン GH」が、海に風車を浮かべる「浮体式洋上風力発電」のフランス沖でのパイロットプロジェクトに採用されました。10MW 級の大型設備が複数配置されており、浮体式洋上風力発電では世界有数のパイロットプロジェクトです。当社は厳しい環境下でも優れた性能が発揮できるように製品の改良を続け、再生可能エネルギー産業の発展を支えてまいります。



プロジェクトに導入された浮体式洋上風力発電の設備＝フランス沖（出典:BW Ideol 公式ウェブサイト）

■世界有数のパイロットプロジェクト

今回のプロジェクト「EOLMED」は、フランスの独立系再生可能エネルギー事業者 Qair が主導しています。複数の企業が参画しており、合弁会社を設立して推進しています。2025 年 12 月にフランス南部の沖合に直径 164 メートルの風車を備えた浮体式洋上風力発電設備を 3 基設置しました。定格出力は 1 基当たり 10MW で、2026 年 4 月に送電を開始しました。同年 5 月には最大出力での運転が可能になり、約 5 万人分の消費電力に当たる合計 30MW を発電しています。

浮体基礎は、洋上風力発電の独自技術の開発に取り組む BW Ideol 社（本社：フランス）の特許技術「Damping Pool®」が採用されています。当社は 2024 年 2 月に「ファイバーフロン GH」（直径約 30 センチ、長さ約 40 センチ）を供給しました。海面に浮かべた基礎が設置場所から移動しないようにする係留チェーンとの接続部に使用されています。

BW Ideol 社は、2018 年に運転を開始したフランス初の浮体式洋上風力発電設備の建設プロジェクトに設計から保守まで一貫して携わっており、同年には北九州市沖で浮体式洋上風力発電実証機「ひびき」の設置プロジェクトも手がけました。

EOLMED プロジェクト詳細：<https://eolmed.qair.energy/en/>

BW Ideol 社詳細：<https://www.bw-ideol.com/jp>



海面の基礎と係留チェーンの接続部分に使用されている「ファイバーフロン GH」（出典：Région Occitanie / Pyrénées）

■過酷な環境下でも安定性を発揮

当社の「ファイバーフロン GH」は特殊繊維と充填剤を高密度に組み合わせしており、耐摩耗性の高さが特長です。固体潤滑剤を使用し、優れた自己潤滑性も実現しています。給油なしでも長期間にわたって安定した性能が発揮できます。設備の運転期間は 25 年以上とされており、メンテナンスをせずに使い続けられることが条件でした。当社は BW Ideol 社と協議を重ね、実際の使用環境を再現した独自の社内評価試験を実施。その結果、25 年以上の耐久性能を評価していただき採用が決まりました。



実際の使用環境を想定し、海水を使った性能試験の様子＝神奈川県藤沢市のオイレス工業 藤沢事業場

ファイバーフロン GH 詳細：https://www.oiles.co.jp/products/bearing/fiberflon_gh/

■国内外の需要に対応

洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会は 2025 年 8 月、「洋上風力産業ビジョン(第 2 次)」を策定しました。2040 年までに国内で 15GW 以上の浮体式洋上風力案件を創出するという政府目標が掲げられています。BW Ideol 社は、東北電力と岩手県久慈市沖での商業規模の浮体式洋上風力発電の事業化調査を進めており、このほか、フランス地中海(2031 年運転開始予定)やスコットランド沖の北海(2033 年運転開始予定)で商業プロジェクトを計画しています。国内外で開発が加速する洋上風力発電の需要に対し、当社は設置場所の環境、耐久性能要求に適合した製品が供給できるよう研究開発や改良を進めてまいります。

以上